



サ ナ 通 信

◆発行 者

株 式 会 社 サ ナ
埼玉県所沢市東所沢和 1-41-6
TEL04-2946-2341

◆北関東営業所

埼玉県本庄市児玉町
児玉 1558
TEL090-2476-0616

◆東北営業所

岩手県一関市滝沢字
矢ノ目沢 73-262
TEL0191-26-3737

◆九州営業所

福岡県糟屋郡粕屋町
上大隈 435-1
TEL092-939-3716

《今回のトピック》

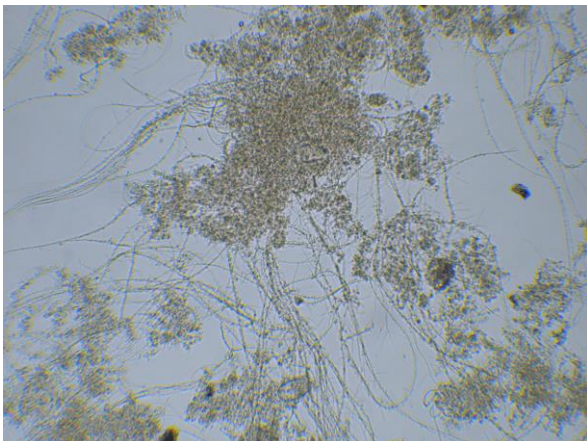
★ ゴールデンウィーク中の活性汚泥管理ポイント！

★ トピック 《GW の休業中の管理如何で、休み明けを安心して迎えます。》

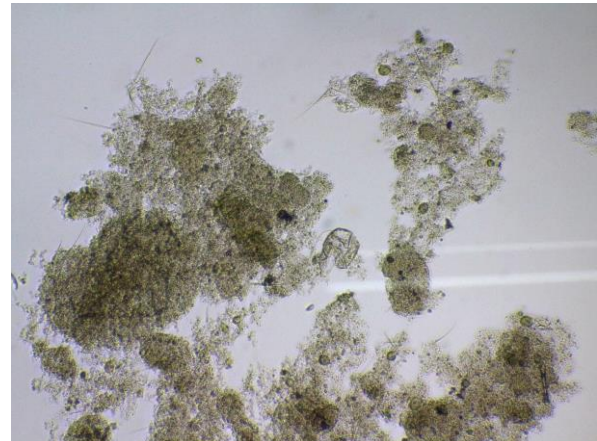
活性汚泥はご存知のとおり生き物です。負荷の無い工場の休み期間を何もせず過ごすと、活性汚泥の処理機能は低下し、休み明けに処理不調を起こすことがあります。

《このような経験はございませんか？》

- ① 休み明けに処理水が濁る。
⇒BOD 処理不良や、活性汚泥フロックがバラバラになって流出している可能性があります。
- ② 沈殿槽で汚泥の塊が浮かぶ。またはスカム状になる。処理水の pH が下がる。
⇒休み期間中に過剰硝化が進んでいる可能性があります。
- ③ 沈降性が悪く、通常時に比べ汚泥界面が高い。
⇒流入の無い休み期間中に処理が進行し、低負荷による糸状菌が発生し、沈降性が悪くなっている可能性があります。



対策をせず、糸状菌が発生している汚泥(糸状菌バルキング)



対策を行い、糸状菌の発生を抑制している汚泥

これらの問題は、休み中に負荷(汚泥にとってのエサ)が無いことから、フロック形成や BOD 処理を担っている細菌の量が減少することに起因しています。この様な状態が継続しますと、フロックを形成していた細菌の粘性分泌物が細菌自身のエサとして消費されてしまったり、高 DO や曝気槽滞留時間の増加によって、生物による窒素の酸化が過剰に進んでしまったりと、上記①～③の様な現象に繋がりますので注意が必要です。

サナではこういった問題を抱えられたお客様に安心をお届けするべく、現場経験豊富なスタッフと各種対応剤をスタンバイしております。電話相談から無料現場調査まで、お気軽にご連絡下さい！

又脱臭・消臭も得意としており、排水・廃棄物などの臭気を軽減し、快適な環境作りのお手伝いをさせて頂いております。